

(4)発表の指導

- a) 発表の観点を明確にする。
例えば、右の作品カードを使って、項目ごとにまとめさせる。
- b) 自分の言葉で発表する。
できるだけ自分の言葉で発表できるように練習させる。

(5)取り組みの視点

理科では、「わたしの研究」の学習で、理科の内容にこだわらないテーマ設定について指導します。しかし1単位時間の時数では、取り組みの指導はムリです。

そこで次のような視点を子どもたちに与えて指導したいと思います。

日常の学びを生かす場

本校の教育課程で各教科で身につける技能を組み組みに生かせるように指導する。

例えば、

- 調べる活動～ 国語「辞典の引き方」(4年生、5年生)
社会「調べ学習」(各学年の指導に応じて)
理科「実験・観察の技能」(身につけさせたい力)
生活科「実験観察及び調べ学習」

やってみる活動～算数・体育・音楽・図工・家庭科
「各種知識や技能」(各学年の指導に応じて)

まとめ・発表～国語「ポスターセッションやプラン君など」
社会・理科「調べ学習のまとめ・発表」

などです。

学習の横の広がりを大切にします。

自由研究作品カード

題名 (作品名)			
5年	組	名前	
(調べる方法・作り方)			
(工夫したところ)			
(わかったこと・うまくできたところ)			
(わからなかったこと・うまくいかなかったところ)			
(先生から)			